

公示

独立行政法人国際協力機構契約事務取扱細則（平成15年細則(調)第8号）（以下「細則」という。）に基づき下記のとおり公示します。

2023年11月29日

独立行政法人国際協力機構
契約担当役 理事

調達管理番号	23a00750
調達件名	アンゴラ国東部地域稲作振興プロジェクト
目的	<p>【背景】アンゴラは米の消費量の約98%（FAOSTAT、2020）は輸入に依存しており、同国政府は稲作振興を通じた食料自給率向上を優先度の高い政策課題として位置付けている。</p> <p>JICAは、2019年に技術協力プロジェクト「稲作開発プロジェクト」を通じ、小規模農家への普及活動のための稲作技術パッケージと普及員等が農民に技術を伝えるための稲作ガイドの作成を支援し、種子生産の推進に加え、種子生産強化により稲作振興を進めていくこと等の課題が抽出された。</p> <p>同国の稲種子生産は、品種の選定試験や原種種子の増殖を担う農業研究院（IIA）、種子認定機関である国家種子サービス（SENSE）、農業普及を担う農業開発院（IDA）の3機関と種子生産農家が担っているが、いずれも稲種子生産の経験は十分でなく必要な種子を十分に確保できない状況にある。同国政府は一部、民間企業から種子を購入、農家に配給しているものの、同種子は適切な品質認証を受けられていない。同国東部に位置するルンダ・スル州、モシコ州は亜熱帯性サバンナ気候の高原地帯に位置し、稲作に適しているが、長年の内戦により多くの灌漑施設が利用できない状況にあり、一部の農家が自家採種や政府配給種子による稲作を細々と行っている状況である。</p> <p>【目的】本事業は、アンゴラ東部のルンダ・スル州、モシコ州において、稲種子生産体制の強化、稲作技術の強化、稲種子以外の稲作振興に寄与する要素の特定を行うことにより、稲作振興モデルを形成し、もって対象2州の稲種子生産量と米生産量の増加に寄与するもの。</p>
業務種別	コンサルタント等契約-業務実施契約-【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
仕様等	企画競争説明書による
履行期間	2024年4月15日 ～ 2029年5月31日
選定方法	企画競争
業務量（人月）想定	100.00 人月
競争参加資格	<p>公告・公示日において有効である全省庁統一資格を有すること。</p> <p>日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人であること。</p> <p>契約事務取扱細則第4条に該当しないこと。</p> <p>その他、企画競争説明書に記載の参加要件に該当すること。</p>
企画競争説明書配布依頼受付期限及び方法	2023年12月5日 12時00分 https://www2.jica.go.jp/ja/announce/index.php?contract=1
プロポーザル提出期限	2023年12月22日 12時00分
その他	その他詳細は企画競争説明書による

以上